

「新たな振興計画」の策定に向けて 意見を募集します！

令和3年7月9日(金)～8月9日(月)

沖縄21世紀ビジョン
キャラクター
げら鳥 2121 (にいにい)



県では、令和4年度からスタートする「新たな振興計画」の策定に向けて、そのたたき台として「新たな振興計画(素案)」を取りまとめ、沖縄県振興審議会等で検討を行っています。

今後の計画づくりに反映させるため、県民の皆さまからご意見を募集いたします。

01 「新たな振興計画」ってどんな内容になるの？

「新たな振興計画(素案)」では、SDGsを取り入れ、社会・経済・環境の三つの側面が調和した「持続可能な沖縄の発展」と「誰一人取り残さない社会」を目指すとともに、「安全・安心で幸福が実感できる島」を形成することで、本県の自立的発展と住民が豊かさを実感できる社会の実現を計画目標としています。



02 どこで読めるの？どこで意見できるの？

沖縄県ホームページや、沖縄県庁舎、宮古・八重山合同庁舎で閲覧でき、「新たな振興計画(素案)」への意見は下記QRコードから受け付けています。なお、3庁舎とも利用時間は平日9時～17時です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言中は行政情報センター及び行政情報コーナーを閉鎖することがあります。

沖縄県ホームページ

意見募集
(パブリックコメント)



企画調整課HP



沖縄県庁舎

那覇市泉崎1-2-2

沖縄県行政情報センター(2階)／企画部企画調整課(7階)

沖縄県宮古合同庁舎

宮古島市平良西里1125

沖縄県宮古行政情報コーナー(1階)

沖縄県八重山合同庁舎

石垣市真栄里438-1

沖縄県八重山行政情報コーナー(1階)

問い合わせ

企画調整課 電話：098-866-2026 FAX：098-866-2351



海の安全を守るためわたしたちにできること 《青い羽根募金》



01 海の犠牲者ゼロを目指して

沖縄県の周辺には広大で美しい海が広がり、その沿岸も含め、豊かな漁場やレジャー・観光資源として活用されています。

こうした海や海浜等で船舶海難や海浜事故が発生する場合、国や地方自治体による公的な救難体制のみでは迅速かつ確な対応に限界があるため、公益社団法人琉球水難救済会が捜索救難活動等の民間ボランティア活動を行っています。

同会は県内各地81か所に救難所を設置するとともに、令和2年度には34件の海難に218隻494名が救出し、11隻40名を救助しました。

02 青い羽根募金にご協力ください

厳しい条件下における安全かつ効果的な海難救助の

実施に必要な資金を確保するため、「青い羽根募金」へのご寄付をお願いしております。

皆さまからの善意は、救難資器材の整備、訓練や講演の実施など海の安全性向上に役立てられます。

「青い羽根募金」へのご協力をよろしく願いいたします。



(左) 海の安全教室
(右上) 整備した資器材
(右下) 救難所員への心肺蘇生法訓練

問い合わせ

防災危機管理課 電話：098-866-2143 FAX：098-866-3204